

ため池緊急点検調査の結果と今後の取組について

平成30年7月豪雨災害を受けて、全国で「ため池緊急点検調査」が実施されました。本市における調査の結果と今後の取組について報告します。

1 調査の内容

- (1) 調査期間 平成30年(2018)8月3日(金)～8月27日(月)
- (2) 調査ため池数 684か所 ※市内ため池総数の47.6%
調査対象ため池：下流の家屋や公共施設等に被害を与える可能性があるため池
- (3) 調査項目 下記の項目について目視で調査

【堤体】

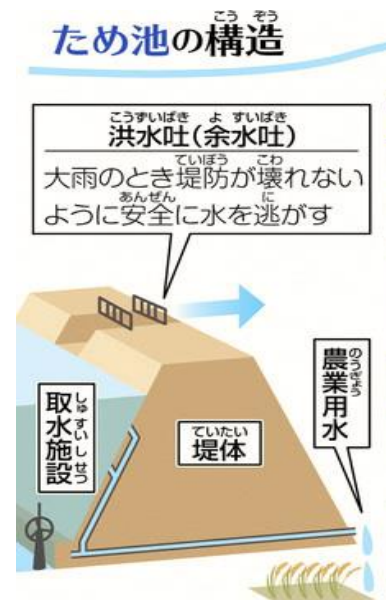
堤体法面の陥没や亀裂、湧水や浸食などの変状の有無

【洪水吐及び取水施設】

施設の損傷や周辺地盤の変状の有無

【ため池内や堤体周辺の斜面・法面】

流木の堆積や斜面崩壊等の有無



2 調査結果

- ・今後の台風等に備えて応急措置が必要：3か所
- ・軽微な変状があり経過観察とする：36か所
- ・特段の変状無し：645か所

地区	総数 (か所)	調査対象 ため池	応急措置が 必要	経過観察	変状なし
出雲	352	156	1	17	138
平田	674	276	2	4	270
佐田	149	118	0	1	117
多伎	76	41	0	1	40
湖陵	37	26	0	7	19
大社	1	1	0	0	1
斐川	147	66	0	6	60
計	1,436	684	3	36	645

- ・応急措置が必要としたため池3か所については、変状の状況を管理者へ報告し、当面、ため池内の水を抜いて水位を低下させる低水位管理を行っています。

3 今後の取組

- (1) 応急措置を行っているため池3か所については、国・県の補助事業を活用し、本年度中に改修工事を行う計画としています。
- (2) 経過観察としたため池36か所については、変状の状況を管理者へ報告し、降雨時の現場確認や定期的な経過観察等による管理を依頼します。
- (3) 特段の変状無しとしたため池についても、調査の状況を管理者へ報告し、今後の定期的な管理を依頼します。

ため池緊急点検により応急措置が必要と判断されたため池

市町村名	ため池名	応急措置(済み)		今後の対応方針
		ブルーシートによる被災箇所の保護	堤体等の安定性を確保するための水位低下と低水位管理	
松江市	<small>しらが おおいけ</small> 白鹿大池	●		改修
出雲市	<small>なかい まえ</small> 中井前		●	〃
出雲市	<small>はんげ いけ</small> 半化B池		●	〃
出雲市	<small>ならお いけ</small> 奈良尾池		●	〃
益田市	<small>おおまち づつみ</small> 大町堤	●		〃
西ノ島町	<small>まつね</small> 松根		●	廃止
西ノ島町	<small>いぬ び</small> 犬1号		●	〃
西ノ島町	<small>たか だに</small> 高谷		●	〃
計	8	2	6	

平成30年9月6日 島根県報道発表資料より